

大学情報活用フォーラムのご案内

2024 年 6 月吉日

株式会社 S R A 東北

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、弊社では下記の日程にて「大学情報活用フォーラム」を開催することになりました。

今年の「大学情報活用フォーラム」は対面形式での開催とし、講師の方々から各大学における情報活用の事例等を紹介すると共に、参加者皆さまの情報交換の場としてお役立ていただければと考えております。

ご多忙中とは存じますが下記開催概要をご参照の上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

開催概要

- 開催日時 2024 年 8 月 23 日（金） 13:30～（受付開始：13:00～）
（受付の際に名刺を 1 枚頂戴いたしますので、ご準備をお願いします。）
今年は DB-Spiral ユーザ様向けに、DB-Spiral カスタマイズ事例紹介を 10:30～11:30（受付：10:15～）で実施します。（定員は先着 40 名となります）
- 会場 ホテルメトロポリタン仙台 4F
- 定員 100 名（先着順とさせていただきます。）
- 参加対象者 大学・教育機関の教職員のみとさせていただきます。
- 参加費 情報交換会へ参加されるお客様については、お一人様 2,000 円 の 会費を当日会場の受付にて申し受けます（領収書は発行いたします）。
- 参加申込方法 下記の URL より、必要な情報を入力し、申込してください。
<https://x.gd/A8cnOt>
※申込頂いた個人情報については、当フォーラムに関する連絡や同様のセミナー開催時の案内、弊社製品の案内のみに使用致します。



【申込 QR コード】

■ アクセス



ホテルメトロポリタン仙台：〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1番1号

TEL 022-268-2525 FAX 022-268-2521

J R 仙台駅 2 階正面出口(西口)から歩道橋（ペデストリアンデッキ）に出て左方向にございます。

※プログラム内容については次頁をご覧ください。

プログラム 受付開始 (13:00-)

第一部：講演会 (13:30-17:30)

(1) 人口減少を見据えた大学改革の一助となる IR への挑戦～公開データの利活用及び分析環境の再構築を題材に～

講演者：山形大学 学術研究院 教授 浅野 茂 様

2018 年問題として 18 歳人口の減少が取り沙汰され、大学においては入学定員の見直しや学部改組等の対策を講じてきていますが、今後、さらに大胆な改革への要請が高まることが予想されます。例えば、本年 4 月に人口戦略会議において示された「地方自治体「持続可能性」分析レポート」において取り上げられているように、地方自治体の多くは「消滅可能性都市」リストに含まれるなど、大学においても、より長期的な展望を持って若年層人口の推移を注視していくことが要されます。

こうした状況への対応策として、政府統計の総合窓口（e-Stat）のデータを活用した都道府県及び市区町村別の若年層人口の推移等を可視化する取り組みをご紹介します。加えて、多くの大学において DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みが加速化されている一方、昨今の急激なコスト上昇により、従来の分析環境が維持しにくいという課題も顕在化しており、報告者の所属機関において、どのような方策を講じようとしているのかについても話題提供させていただきます。

(2) GakuNin RDM と JAIRO Cloud を起点とした研究データ管理の実現と将来展望

講演者：国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター 特任准教授 下山 武司 様

国際的なオープンサイエンスの流れから、研究活動の公正性を保ちつつ、研究成果を広く共有し利活用できるようにするための、研究データ管理の重要性が高まっています。この講演では、NII が提供している、研究データ管理基盤「GakuNin RDM」と、研究データ公開基盤「JAIRO Cloud」を起点として、研究データ管理の現状と未来について探り、研究者が自身のデータを効果的に管理・共有するために、これらのツールがどのように連携して研究者を支援し、適切な研究データ管理を実現するのかを説明します。さらに、2024 年 2 月に内閣府（統合イノベーション戦略推進会議）で決定された「学術論文等の即時オープンアクセスの方針」を踏まえて、今後の研究データ管理の役割についても考察し将来の展望を示します。この講演を通じて、オープンサイエンスの理念に沿った学術分野への貢献の考え方を理解する上で有益な情報を提供します。

(3) 東北大学における研究関連 DX の推進

講演者：東北大学 情報部デジタル変革推進課長（兼）総長・プロボスト室 主任経営企画スタッフ 藤本 一之 様

東北大学コネクテッドユニバーシティ戦略では、大学諸の活動を全方位で DX することを掲げています。本講演では、データ利活用を見据えた DMP 支援機能や、研究インテグリティの自律的な確保のための生成 AI 活用など、特に研究に関連する DX を紹介します。

(4) SRA 東北ソリューション紹介

講演者：株式会社 SRA 東北

① 大学様向けのシステムについて紹介

教員の業績管理システムとして多くの導入実績がある「DB-Spiral」を中心とした大学様向けシステムの今後の展開や取り組みについてご紹介させていただきます。

② 認証基盤関連サービスの紹介

GakuNin RDM の導入検討に伴い学認参加や大学における認証・認可制御に注目が集まっています。

大学における多要素認証の導入、学認 IdP をクラウドサービスで構築することのメリットなど ID 管理・認証基盤に関する動向や導入事例をご紹介します。

③ SRA 東北が魅せる生成 AI 活用事例

SRA 東北の最新の生成 AI 技術を活用した新しい取り組みを紹介します。社員の知識を AI 化し次世代へ継承、AI が次世代リーダーを育成、AI 同士の自然な対話で問題解決、新たなアイデアを創出するディベートなど、生成 AI の可能性を感じることができる事例をご紹介します。今、話題の生成 AI について、弊社の最新の取り組みについてご紹介させていただきます。

第二部 情報交換会 (17:40-19:20) ※会場は 21 階になります。

本イベントに関するお問い合わせについて、以下の担当までにお問い合わせください。

担当：営業戦略部 相澤 秀樹 電話：022-221-9061 メール：uv-ev@sra-tohoku.co.jp